

鴨川市教育委員会 9 月定例会議事録

- 1 日 時 令和 3 年 9 月 1 6 日 (木) 開会 午後 2 時 0 0 分
閉会 午後 4 時 0 0 分
- 2 場 所 天津小湊支所 3 階 会議室
- 3 出席委員 (1) 鈴木希彦 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 永島康弘 (5) 吉原里夏
- 4 出席職員 (1) 三浦 徹 (2) 入江裕一 (3) 石川丈夫
(4) 嶋津延枝 (5) 犬石貴久 (6) 鈴木 卓
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 教育委員会 8 月定例会議事録の承認
- 鈴木教育長から、8 月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。
- 7 教育長・委員報告
- 鈴木教育長から、8 月定例会議以降に教育長が出席した行事等の内容について、別紙報告書をもとに報告がなされた。
- 8 報告事項
- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市立小中学校の 2 学期始めの対応について
- 三浦学校教育課長から、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市立小中学校の 2 学期始めの対応について、資料をもとに報告がなされた。
 - 石井委員から、オンラインで健康観察ができたことで大きな一歩を踏み出せたと考える。各校のアンケートでは、児童生徒が布団の中や朝食を食べながら健康観察を行ったという報告もあり、オンラインだからこそ日常の生活が目に見えたとも言える。今回の取組みを通して、3 つのことが見えてきた。1 つ目はオンラインの学習に教員が慣れたということ、2 つ目は、環境を整えるために行政側が協力していかねばならないということ、この 2 つは何とか解決できるだろう。3 つ目は、家庭の教育力に頼らざるを得ないということである。鴨川市は 0 才から 1 5 才までの連続性のある学び・育ちということを謳っている。子どもたちが生まれる前からの生活支援が中学生までつながっている。社会全体で生活支援をするとともに、家庭の教育力を高めていかねばならない。様々な

機関を活用し、手助けや支援をしていく必要がある、との意見がなされた。

- ・ 鈴木教育長から、嶋津学校教育課長補佐及び鈴木子ども支援課係長に対し、福祉分野に携わった経験に基づく意見はどうか、との質問がなされた。
- ・ 嶋津学校教育課長補佐から、福祉や健康の面から考えると生まれる前から子どもの育ちに困難が予想されるケースは存在し、教育を受ける年齢になれば、こども園や小中学校の教職員と協力しながら支援が行われている。教育の現場に関わる方が家庭にも目を向けて考えるように、本日の会議には子ども支援課の鈴木係長が参加されている。他部署との連携を大切にしていきたい、との意見がなされた。
- ・ 鈴木子ども支援課係長から、タブレットを使つての健康観察に親としても関わりを持ったが、画面の向こうに先生や友だちが見え、とてもよい試みであり、改めて感謝を申し上げたい。反面、リアルな家庭の状況が映るといふのも新たな問題である。多くの保護者と接していると、画面にさえ映れば良いのではと考える方がいることも想定される。今回の取組みは子どものSOSや家庭の状況をキャッチする良い機会である、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、インターネットにつながらない家庭があるとのことだが、これは事前に分かっていたのか、との質問があった。
- ・ 三浦学校教育課長から、ポケットWi-Fiの設定を変更してしまったケースのほか、通信状況が良くない地区もある、また、実際につないでみたら、つながらなかったというケースもあった。
- ・ 根本委員から、地域的につながりが良くないということであるのか、との質問がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、使用するキャリアや接続の方法により、つながりが良くないケースもあり、各家庭においてどのような方法が良いのかを、改めて確認する必要がある、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、できるだけ差がつかないような方法でお願いしたい、との意見がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、つながらない家庭については、登校しての学習や、昨年度の臨時休業期間中のように公共施設のWi-Fiを利用しての学習なども考えられる、との説明がなされた。
- ・ 吉原委員から、私立中学校では、学年毎に通学とオンラインを交互に実施している例もある。通常の授業でタブレットを使い、オンラインありきの準備がなされている。授業の中でもっと使っていく準備があれば、つなぐところからという問題は解決するのではないか、との意見がなされた。
- ・ 鈴木教育長から、授業内でのタブレットの活用状況は、との質問がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、6月の学級毎のタブレット平均使用時間は約20時間であり、第3期教育振興計画の最終年である令和7年までに、小学校高学年

及び中学校で、1学級あたり1日2時間、年400時間の使用を目標としている。本市のタブレットには、スポットライトやランダムにチャットを組むなど様々な機能があり、有効な使用方法を各校へ広めていきたい。15日には市校長会が、ICT教育指導員の吉田氏を講師としてタブレット使用に関する研修を行い、今後、市教育委員会の指導主事による研修も計画されている、授業においては、各校の活用状況は様々である。児童生徒の学力を高めるのにふさわしい方法により学習を進めたい、との説明がなされた。

- ・ 根本委員から、オンラインの学習で、教員はカメラに向かって話しているのか、との質問がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、教員の目線で児童生徒側を映すほか、児童生徒の目線で教員や黒板を映す、板書用に黒板のみを映すなど、複数のタブレットを使用する例もあり、使用方法は様々である、との説明がなされた。
- ・ 永島委員から、市の広報誌に掲載されていた家庭への経済的な支援は、どの程度行われているのか、との質問がなされた。
- ・ 鈴木教育長から、今年度の庁内仕分けでは、学校教育課の就学支援金、子ども支援課の子ども医療費が対象となった。将来、自分の故郷がどうであったのかを振り返った時に、自分が育った街に誇りを持ち、いずれ支援したものよりはるかに大きくなって返ってくるのではないかと、との意見がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、御質問いただいた児童及び生徒援助奨励事業について、要保護及び準要保護児童生徒への援助奨励事業は令和2年度実績で、小学校の対象が140名で767万4千円、中学校の対象が110名で732万7千円である、との説明がなされた。

(2) 令和3年第3回議会定例会について

- ・ 三浦学校教育課長から、令和3年第3回議会定例会について、資料をもとに報告がなされた。

(3) 鴨川市CS導入に向けた学校別ヒアリングの結果等について 及び (4) 鴨川市CS導入に係る進捗状況について

- ・ 犬石学校教育課係長から、鴨川市CS導入に向けた学校別ヒアリングの結果等について 及び 鴨川市CS導入に係る進捗状況について、資料を基に一括して報告がなされた。
- ・ 石井委員から、任用に関する部分や学校運営に関する学校関係者評価については具体的にどのようなことができるのか、との質問がなされた。
- ・ 犬石学校教育課係長から、表中に例としてあげられている4点のように、特定の個人をさすものでなければ意見を述べることができ、真に必要なものであれば意見を会議でまとめ、教育委員会に具申することとなる。また、学校関係者

評価については、学校評価アンケートをとりまとめた結果や数値について、来年度、学校が取り組むべき方向性や地域が取り組む内容など、子どもたちの成長につなげるための改善提案を行う、との説明がなされた。

- 根本委員から、委嘱については教育委員会が任命する形とのことであるが、こういった形で名前が挙がってくるのか、との質問がなされた。
- 犬石学校教育課係長から、来年度が初年度となるため、学校から委員の任命に関する意見の申し出を受けて、年明けに教育委員会議に諮る、できるだけ現場の声を聞いて進めたい、との説明がなされた。
- 根本委員から、校長が4月になって新しく変わった場合どうするのか、との質問がなされた。
- 犬石学校教育課係長から、委員に関しては前年度に打診し、新年度4月からスタートさせることを想定している、との説明がなされた。
- 根本委員から、異動する校長が指名や言い残していくと考えると良いか、との質問がなされた。
- 犬石学校教育課係長から、新しい校長が着任した後、決定することが望ましいとは考えるが、年度の切り替わり上難しい部分もあり、前年度の2月から3月中に選任し、4月に任命をすること予定である。また、校長・教頭が同時に異動するのは希なケースであるので、管理職間で連携を取って進めていただきたい、との説明があった。
- 鈴木教育長から、タイムラグがあって非常に難しいところである。新しい校長が任命するのが望ましいと考えるが、経験上は新しい校長が提出した経営方針を5月に承認する形であった。県からも必ずこうしなさいという言い方はされていない。新たに決めていくには時間的な困難さがある、との説明がなされた。
- 根本委員から、条例改正の審議がなされるとのことであるが、報酬に関してはどのように決定するのか、との質問がなされた。
- 犬石学校教育課係長から、関係する条例や規則の改正は5本あるが、そのうち1本だけが条例であり、内容は報酬に関係するものである。条例に関しては教育委員会議で完結せず、教育委員会議で可決いただいた後、12月市議会定例会にかけることが必要となる。11月の教育委員会定例会では、この条例以外に規則制定や改廃についても方向性を固めた上で参考資料として提出し、1月の教育委員会定例会で審議いただきたい、との説明がなされた。
- 根本委員から、報酬の額については、教育委員会定例会の審議となるのか、との質問がなされた。
- 犬石学校教育課係長から、条例改正の審議の中で、具体的な報酬額についても示した上で審議いただきたい、との説明がなされた。
- 根本委員から、具体的な金額について市の規定があるのか、との質問がなさ

れた。

- ・ 犬石学校教育課係長から、同じような職について、金額が載っているものもあり、その比較から考えることも可能である。学校運営協議会自体が新たな取組であり、しっかりした金額の根拠を持って提案したい、との説明がなされた。
- ・ 永島委員から、Q&Aについて、長狭学園は小中一貫校であるので一つの組織となるのは可能と書かれているが、認定こども園についてはどう扱われるのか、との質問がなされた。
- ・ 犬石学校教育課係長から、保幼小中一貫と謳っていることから、こども園と小中学校で共同の学校運営協議会を設けることが望ましいとは考えるが、文部科学省に確認したところ、認定こども園と小学校で共同の学校運営協議会を設けることは管轄が異なるため不可能であるとの回答を得た、ただし、委員となっている認定こども園関係者から提案又は報告を行いたい旨の申し出があった場合には、協議会の会議自体を閉会したのち、委員にお時間をいただく形で対応いただきたい、との説明がなされた。

(5) 校務支援システムについて

- ・ 嶋津学校教育課長補佐から、校務支援システムについて、資料をもとに報告がなされた。
- ・ 石井委員から、安房地域の他市町は導入をしているのか、との質問がなされた。
- ・ 嶋津学校教育課長補佐から、南房総市は導入済みであるが、今回の選定会にも参加した他社のシステムである、館山市は中学校へ試験的に他社のシステムを導入予定である、鋸南町は導入していない、との説明がなされた。

(6) 12～15歳の新型コロナウイルスワクチン接種について

- ・ 三浦学校教育課長から、12～15歳の新型コロナウイルスワクチン接種について、資料をもとに報告がなされた。

議 事

(1) その他

10 その他

(1) タブレット端末のチャット機能について

- ・ 石井委員から、東京都町田市で起こったタブレット端末のチャット機能に関連するいじめと児童の自殺について、本市のタブレットの状況はどのようなか、との質問がなされた。
- ・ 三浦学校教育課長から、市内小中学校で使用しているタブレットにあるチャ

ット機能を停止する方向であり、同時にいじめ問題については、児童生徒に意識啓発をしていく、との説明がなされた。

1 1 閉 会

- ・ 閉会后、10月の教育委員会行事予定について、事務局より説明がなされた。

鈴木教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年10月21日

鴨川市教育委員会 教育長 鈴木 希彦

教育長職務代理者 石井 千枝

議事録作成（学校教育課長 三浦 徹）